

◆ ゼミナールの研究テーマ

今の政治について「どうすべきか」を考えるためには、今の政治が「なぜ・どのように動いているのか」について検討する必要があります。現状を十分に検討せずに提言・提案を行えば、方向が間違っていたり、実現可能性が低かったりしかねないからです。本ゼミナールでは、政治の現状について客観的・論理的な理解を深めるために、科学的推論（実験・実証分析・数理理論）の方法を紹介します。そして、目の前にある問題について直感や思い込みを捨てて検討する力を身につけることを目指します。研究テーマとしては、一般有権者の政治行動・政治意識形成のプロセス、および一般有権者と政治家・政府・メディアとの関係を中心に、現代政治全般に関心がある人を歓迎します。地域的な関心は、日本やアメリカを始め、世界中どここの国でも構いません。卒業論文では、量的手法・数理理論を用いた分析をしてもらいます。

◆ 研究内容

<外国書研究> 受講者の関心に応じ、投票行動、政治参加、世論、政治コミュニケーション・メディア、政治心理、政治と社会的アイデンティティ・ジェンダー、政治家行動、選挙・政治制度などの分野から英語論文を購読します。春学期は一般的な理論・モデルに関するクラシックな文献、秋学期は最新の実証分析文献を中心に読む予定です。各文献の担当者を決め、その人の司会でディスカッションをします。

<卒業論文・3年次> 科学的思考法を理解し、それに沿った研究を行えるようになることを目指します。前半は仮説検証という考え方、仮説検証の理想形である実験、論理的思考を行うツールとしての数理理論について学びます。後半は、世論調査などの観察データを用いた研究デザイン、および実証的な分析を行うツールとして、統計ソフト R を用いた分析の行い方と、分析結果の適切な解釈について学びます。夏から秋にかけて、グループに分かれて実験デザインのコンペをする予定です。相互評価で「一番面白い」となった実験を実際に行い、みんなで分析したいと思います。

<卒業論文・4年次> 各自の関心に応じてテーマを設定し、実験、実証分析、もしくは数理理論を用いた分析を卒業論文にまとめます。基本的には、仮説検証型の論文を書いてもらいます。ゼミ内では、進捗を発表し、討論を行います。

<卒業論文テーマ> 本年度がゼミの第1期なので、どんなテーマ・関心が受講者から出てくるのかを楽しみにしています。上で述べたテーマに加えて、現代政治の現状分析に関連していれば基本的に何でも歓迎します。

◆ 応募学生に対する希望

<文献の読み方> 文献や知識を、情報としてただ受け入れるのではなく、それらを使って考え、ディスカッションに積極的に参加することを求めます。文献を読んだら、少なくとも2-3つは疑問やコメントを準備してください。ゼミ中に黙って発言しない場合は、読んでいないのと同じと見なします。誤解や論点のズレがあっても、むしろそれらは理解を深めるきっかけになるものですから、間違いを恐れず発言してください（理解間違い程度で減点はしません）。

<英語について> 現代政治分野の実証・科学的研究は、欧米圏で多くの成果があります。本ゼミナールでは短い新聞記事ではなく、学術論文・学術書をメインに毎週複数の英語文献を読むことを覚悟してください。英語の授業ではないので、1字1句精読することは求めませんし、勧めません。複雑な英語論文の要点をどう効果的につかみ、いかに現代政治について自分の理解が深められるか、という点に注力して読んでください。学生の意欲がある場合、留学生がいる場合は、英語でディスカッションを行うことも想定しています。また、欧米圏における知見を、日本を含む非欧米圏のコンテキストにどう適用・応用していけるかについて考えるモチベーションがある学生を歓迎します。

<分析手法について> 本ゼミナールの卒業論文は、量的分析手法、もしくは数理理論を用いることを条件とします。具体的な手法・ツールについてはゼミ中に紹介するので事前知識は特に求めませんし、数学が得意である必要もありません。ただし、数字・統計を用いた論理的・客観的な思考法を育てる心の準備をしてきてください。

◆ 成績評価方法

外国書研究：担当文献の発表・ディスカッションの司会、およびディスカッションへの参加度を総合的に評価します。

卒業論文：研究発表・ディスカッションの参加度、グループワーク・卒業論文のクオリティを総合的に評価します。

研究分野...実証・数理政治学（特に選挙、世論、民主主義）・政治学方法論

募集人数...10-12名

試験方法...小論文（A4用紙1ページ程度を2問）、必要に応じて面接

学科指定...なし

関連パッケージ...a 政治理論系 b 国際政治系 c 社会学系

関連科目...政治過程論、政治行動論、計量政治学、メディアと世論、現代社会心理学

身上書の独自フォーマットを用いて、ミニ小論文を含めた審査を行います。事前に設問を確認したい場合は次ページ以降を参照してください。

なお、なおゼミ合宿の実施や講義内での英語使用頻度については、最終的なゼミ登録者の関心・意欲に応じて柔軟に決定する予定です。第1期のゼミですので上級生はいませんが、自分たちで新しくゼミの内容・方向性を作っていきたい、という学生を歓迎します。

身上書は、以下の URL・QR コードを使って、Google Forms から 11 月 16 日（木）23:59 までに提出を行ってください。

<https://forms.gle/EBtu6xGRN24j94yw9>



必要に応じて、11 月 19 日（土）の日中（入室試験と同じ時間帯のどこか）にオンラインで面接試験を実施する予定です。面接実施の有無および時間については 11 月 18 日（金）までに連絡します。なお、面接を実施しないで合格者を決定する可能性もありますので、合格に面接は必須ではありません。

ゼミ担当教員（加藤言人）の経歴・専門については、<https://gentok.github.io/jpnindex.html> を参考にしてください。

2024年明治政経加藤言人ゼミ（第1期）：身上書提出フォーム

提出〆切：11月16日（木）23:59

* 必須の質問です

1. メールアドレス *

2. 確認のため、再度メールアドレスを入力してください。 *

3. あなたの学生番号を教えてください。半角数字で入力してください。 *

4. 確認のため、再度学生番号を入力してください。 *

まず、卒業論文の関心、ゼミの内容についていくつかお聞きます。

5. A1. あなたが今関心のある卒業論文テーマは何ですか？関心がある理由、またそのテーマに関して不思議・疑問に思っていること *

を教えてください。

ゼミに入ってから変化すること、もちろんあると思います。今現在イメージしていることについて教えてください。複数ある場合は、複数含めてもらって結構です。（自由回答）

6. A2. 本ゼミは、来年度が第1期になる新しいゼミです。よって、第1期生と共にこれからのゼミの形を模索していければと思っています。 *

あなたは、ゼミに入ったら、どんなゼミにしたいですか？どんなゼミになることを期待しますか？（自由回答）

7. A3. ゼミで合宿・旅行を実施することを希望・期待しますか？ 次の中から**一番近いもの**を選んでください。（答えに優劣はあり * ませんので、正直に答えてください。）

1つだけマークしてください。

- ☐ ぜひ実施して欲しい（自ら企画にも携わりたい）
- ☐ ぜひ実施して欲しい（先生に企画して欲しい）
- ☐ 実施されるならば、参加はしたい
- ☐ 授業時間外の活動はできれば避けたい／実施されても参加は難しい

8. A4. 英語で学術文献を読むことについてどう感じますか。次の中から**一番近いもの**を選んでください。（答えに優劣はありません * ないので、正直に答えてください。）

1つだけマークしてください。

- ☐ 読解に自信があり、ゼミの文献購読に加えて、卒業論文でも活用したい
- ☐ 読解に自信はないが、ゼミの文献購読に加えて、卒業論文でも活用したい
- ☐ 読解に自信があり、ゼミで課題となった文献は積極的に読む用意がある
- ☐ 読解に自信はないが、ゼミで課題となった文献は積極的に読む用意がある
- ☐ 課題となれば読むが、できれば日本語の文献を中心に学びたい

9. A5. ゼミ内で英語を用いて講義・発表やディスカッションを行うことについて、どう感じますか。次の中から**一番近いもの**を選 * んでください。（答えに優劣はありませんので、正直に答えてください。）

1つだけマークしてください。

- ☐ 英語の発話・リスニングに自信があり、ゼミ内でも積極的に英語を使う機会を持ちたい
- ☐ 英語の発話・リスニングに自信はないが、ゼミ内で英語を使う機会を積極的に持ちたい
- ☐ 英語の発話・リスニングに自信があり、ゼミ内でたまには英語を使う機会を持ちたい
- ☐ 英語の発話・リスニングに自信はないが、ゼミ内でたまには英語を使う機会を持ちたい
- ☐ 英語の発話・リスニングに自信があるが、ゼミ内で英語を使うのは基本的に避けたい
- ☐ 英語の発話・リスニングに自信がなく、ゼミ内で英語を使うのは基本的に避けたい

その他、あなた自身についてもう少しお聞きます。

10. B1. 留学もしくは海外で就職をする予定・希望はありますか？ **少しでもあてはまるものは全て**を選んでください。 *

当てはまるものをすべて選択してください。

- ☐ 明治大学学部在学中の留学を考えている
- ☐ 日本の大学院に進学後、留学を考えている（一旦就職後を含む）
- ☐ 海外の大学院（もしくは専門学校）に進学を考えている（一旦就職後を含む）
- ☐ 海外で就職を考えている
- ☐ 上記のどれにも当てはまらない

11. B2. 統計を用いたデータ分析手法について、関心・知識・経験はありますか？（答えに優劣はありませんので、正直に教えてください。） *

1行につき1つだけマークしてください。

	あまり ない	少しあ る	ある	とても ある
関心	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
知識	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
経験	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

12. B3. 次の表計算・統計ソフト・プログラミング言語を使った経験はありますか？（答えに優劣はありませんので、正直に教えてください。） *

1行につき1つだけマークしてください。

	ない	少しあ る	ある	とても ある
Excel (数式 作成)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
SPSS	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Stata	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
R	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Python	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
LaTex	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

13. B4. ゲーム理論／数理論／フォーマルモデルを用いた理論構築手法について、関心・知識・経験はありますか？（答えに優劣はありませんので、正直に教えてください。） *

1行につき1つだけマークしてください。

	あまり ない	少しあ る	ある	とても ある
関心	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
知識	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
経験	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

14. B5. 明治大学学部卒業後に検討している進路は何ですか。少しでも頭にある進路を含めて、広めに教えてください。（自由回答） *

第3に、短い論文課題です。200字以上で回答してください。

15. C1. 日本人の有権者が**民主的な意思決定プロセスに参加していく**上で「**政治についてこれだけは知っているべきだ**」と思う内容 *
はなんですか。世論調査で政治知識を問う設問を1つ作るとして、その質問文と回答選択肢を考えてください。

「これは知っているべきだけれど、これだけ知っていてもあまり意味がない」設問や、「これを知っていればすばらしいけれど、知らなくても大きくは困らない」ような設問はできるだけ避けて、「この知識は必要十分だ」と思う設問を考えてください。

また、**提案した質問・回答選択肢について、それを選んだ理由**を論理的に述べてください。

（※この質問に正答はありません。自分自身で思考したオリジナリティのある回答を期待します。既出の質問を無断で引用した回答や、A I が弾き出した答えをコピペしたような回答は、回答していないのと同じとみなします。）

16. D1. その他、ゼミ担当教員（加藤言人）に伝えたいこと、質問したいことはありますか。もしあれば、自由に記述してください。

必要に応じて、11月19日（土）にオンラインで面接試験を実施する予定です。面接実施の有無および時間については11月18日（金）までに連絡します。（なお、面接を実施しないで合格者を決定する可能性もありますので、合格に面接は必須ではありません。）

特になければ、送信ボタンを押して提出を行ってください。登録されたメールアドレスに回答のコピーが送信されます。

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。

Google フォーム